

議長	副議長	局長	次長	副課長	総務係長
委員長	副委員長	副委員長	書記		

会		議		記		録	
会 議 の 名 称		広報広聴会議				会議場所 第3委員会室	
						担当職員 阿久根由美子	
日 時	平成26年7月11日(金曜日)				開 議	午前 11 時 30 分	
					閉 議	午後 0 時 09 分	
出席委員		菱田 ○山本(広報部会長) ○眞継(広聴部会長) 苗村 福井 中村 小島 中澤 堤					
事務局 出席者		藤村局長、山内次長、阿久根副課長、坂田主任					
傍聴	可	市民 名		報道関係者 名			議員 名()

会 議 の 概 要

11:30

〔菱田委員長開議〕

1 わがまちトークについて

〔眞継副委員長 資料説明〕

<苗村委員>

テーマは1つか。

<眞継副委員長>

こだわっていない。班に任せる。

<中村委員>

班ごと会議を持つのか。

<眞継副委員長>

まずは地元議員でテーマ等を決定してもらう。

<中澤委員>

テーマは共通のものと地元のものと2テーマにすればよい。任せるばかりではよくない。

<眞継副委員長>

ゼロからテーマを考えなければならないとはしていない。折角地元の議員が出席し、地元の方と意見交換をするのだから、地元の方とテーマを考える機会もできる。

<中澤委員>

地元との調整はやりにくく、他地域の参加者には分かりにくいのではないかと。市全体の共通のテーマの方がやりやすいと思う。

<眞継副委員長>

共通テーマも部会で考えている。広報広聴会議でも検討願う。

< 福井委員 >

議会報告と意見交換で1時間は短い。今回の狙いは参加者を増やすことで、地元議員に参加の呼びかけをしてもらう。柔軟性を持って全体で1時間30分くらいの設定を考えればよい。

< 眞継副委員長 >

決算審査等の報告も必要である。1時間にはこだわっていない。

< 堤委員 >

地元の議員によって地元の関心あるテーマを選んでもらいたい。各議員は参加の呼びかけなど努力願う。

< 眞継副委員長 >

案を認めてもらい、早いタイミングで班ごとに集まり協議を始めてもらいたい。

— 全員 了 —

< 中村委員 >

各町自治会に聞くと要望がかなり出てくる。議員は聞くだけで解決できない。

< 眞継副委員長 >

地元議員が1人の班は、広報広聴会議委員とともにテーマの検討をしてもらう。自治会に聞くかどうかは班ごと地元議員で決めてもらう。

< 福井委員 >

地元議員でテーマが決まらないなら広報広聴会議で決めることもあると思う。班ごとの地元議員で政策研究会ができないかと考えている。

< 堤委員 >

議会全体の活動である。要望も聞かせてもらい、議会で提言もすればよい。議員個人の意見を述べるのは止めてもらう。

< 菱田委員長 >

わがまちトークで議会に聞いたことは、議会で議論し提言にもつなげる。議会が対応しなかったら、市民は議会に何も求めなくなる。

2 その他

< 菱田委員長 >

フェイスブックが広がるよう協力願う。各委員も掲載願う。

< 山本副委員長 >

議会だより原稿を確認願う。原稿は18日以降メールボックスに入れる。

< 中澤委員 >

わがまちトークで聴取した意見をつなぐことが大事である。

< 菱田委員長 >

意見を議論し、市民に返すことも必要である。議会の活動を見せることが大事である。

〔 菱田委員長 閉議 〕

12:09